学校番号	327

令和８年度　国際教養科（国際文化科）

教科	国際教養	科目	中国語会話Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「中高版　しゃべっていいとも中国語」　（朝日出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

中国語の発音と知識を身につけ、街にあふれる中国語圏の人々と中国語を通して交流することにより、隣国中国のことを知るために、授業の中だけでなく、日常のあらゆる場面で中国語を使ってみる。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】

・中国語の表音文字であるピンインが読めて、通じる発音を身に着けること。

【思考力、判断力、表現力等】

・単語カードを活用し、繰り返し単語やセンテンスの発音を聞き、リスニング力を高めること。

【学びに向かう力、人間性等】

・グループやペアでの会話練習を通じて、中国語初級レベルの習得をめざす。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	基礎的な中国語の発音と知識を身につけ、話すことや書くことができる。また、会話だけでなく、中国に関する知識を身につけることができる。	中国語を使う場面において適切な表現を利用することができ、中国語を通して必要な情報や考えなどの概要や要点を理解できる。また、中国語を用いて文章などを作成し、それを用いて発表することができる。	積極的に第二外国語としての中国語に触れ、学び、会話をすることができる。また、中国語の背景にある文化に対する理解を深め、中国語を利用して主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1課～第6課	発音 母音、子音 名前のいい方 名前のたずね方 「是」、～は･･･である 「的」、～の	a:日本語にはない中国語特有の発音を練習し、中国人に通じる発音を身に着ける b:学習した構文を用いて会話や発表を行うことができる。 c:積極的に授業に参加し、会話や発表をすることができる。	定期考査 確認テスト 発表	定期考査 提出物 発表	提出物 発表
2学期	第7課～第10課	基本語順 主語+動詞+目的語 連動文 2つ以上の動詞からなる文 希望願望(～したい)を表す助動詞「想」 ～を持っている、～がある/いる、動詞「有」 ～にいる/ある、動詞「在」 前置詞、起点を表す「从」 向かう方向を表す「往」 数のいい方、お金のいい方 形容詞述語文	a:学習した表現を理解している。 b:学習した表現を用いて会話や発表を行うことができる。 c:積極的に授業に参加し、会話や発表をすることができる。	定期考査 確認テスト 発表	定期考査 提出物 発表	提出物 発表
3学期	第11課	年月日、曜日のいい方 年齢のいい方 四言語教えあい授業	a:学習した表現を理解している。 b:学習した表現を用いて会話や発表を行うことができる。 c:積極的に授業に参加し、会話や発表をすることができる。	定期考査 確認テスト 発表	定期考査 提出物 発表	提出物 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度